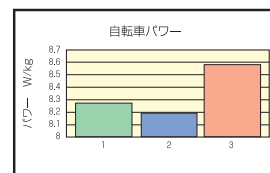
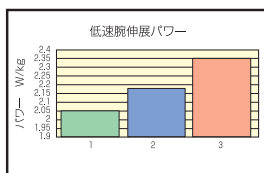
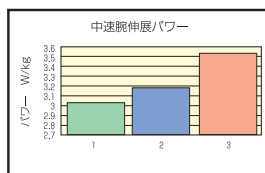
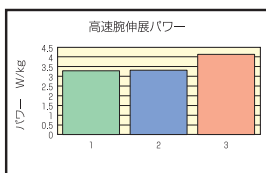
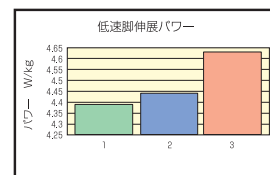
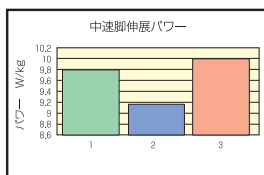
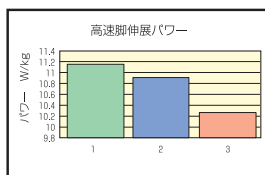
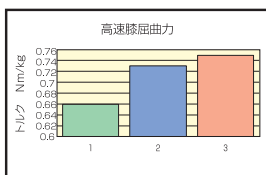
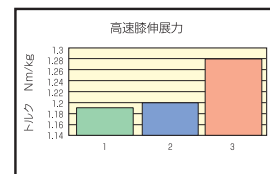
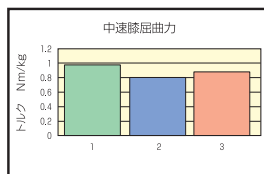
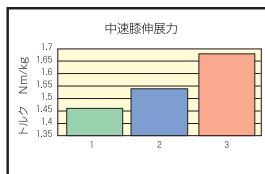
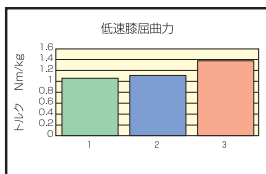
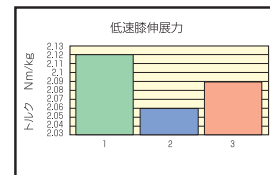
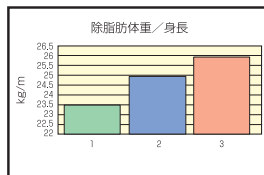


## バドミントン女子

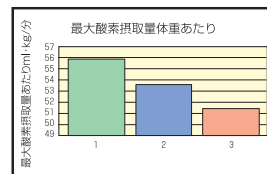
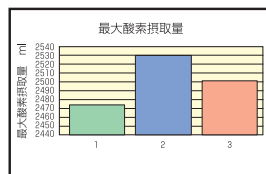
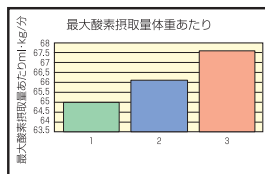
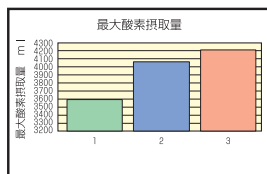


バレーボール男子については低速膝伸展力や、脚伸展パワーが全速度条件において低下するなど、下肢のトレーニングについて課題があると感じられた。  
バドミントン女子については年次が進むにつれて数値が全体的に向上する傾向がみられた。

## スキー・クロスカントリー男子



## スキー・クロスカントリー女子



スキー・クロスカントリー・男子については最大酸素摂取量絶対値および体重あたりともに向上しており、年次とともに呼吸循環器系機能が向上しているものと思われた。女子については最大酸素摂取量絶対値はほとんど変化せず、体重あたりの数値は低下する傾向がみられ、体重の増加に対して呼吸循環器系機能が十分ついていない様子が伺われた。